

永 生 病 院 だ よ り



KEIRYOKAI

# ゆるめま

vol. **20** 2010

- ▶ 理事長のあいさつ
- ▶ 健康ひろば「夏バテ対策について」
- ▶ 香川大学医学部附属病院精神科神経科  
中村 祐教授『認知症について』講演開催
- ▶ 栄養科紹介
- ▶ ふれあい看護体験
- ▶ 子育て支援の取り組みについて
- ▶ 編集後記



## 病院理念

- 信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

## 基本方針

- 良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
- 患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
- 医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

## ● 理事長のあいさつ

陽射しが強くなるとともに樹木の緑の色が深くなり、暑い夏のはじまりを感じます。

今年4月の診療報酬改定が久しぶりのプラス改定となったとはいえ、急性期医療に手厚く点数配分されており、ハードルの高い加算のものが多数あり、中小病院にとっては相変わらず厳しいものでした。しかしながら一方では、急性期から慢性期への医療機関同士の連携や、患者の生活の維持のための医療と介護の連携などが強調されており、それに向けた加算点数がいくつか設定されています。昨今、こうした連携の流れの中で、良質な慢性期医療の重要性がクローズアップされています。急性期医療において高度な医療技術によって救命された場合、もとの生活の場に復帰できるよう急性期終了後の医療を担う慢性期医療が必要になります。

例えば、脳血管疾患、骨折手術などでは、急性期医療終了後すぐには在宅復帰ができず、リハビリテーションが必要となります。糖尿病、心臓病などを合併していれば、同時にこれらの医療も必要です。退院後の生活を想定しながらリハビリを開始し、身体機能を高めていきます。残念ながら機能障害が残り、退院後の生活に支障をきたすような場合には、介護保険下の適切なサービスを利用し生活が支援できるよう計画します。このように在宅生活を第一に考えたきめ細かい医療の提供を行うのが慢性期医療の役割だと思います。他に、慢性閉塞性肺疾患、パーキンソン病などの神経難病、緩和医療を必要とする癌ターミナルの患者な

どでは、病気が慢性的に経過し、時に急性増悪を来すので、慢性期医療でのフォローが必要になります。このように急性期医療だけでは対応できない疾患が多数あり、高齢化率があがるほど慢性期医療が重要となってきます。

いま、厚生労働省の保険局、老健局合同により、一般病床、療養病床、介護保険施設利用者の患者調査が行われています。この結果で平成24年の医療・介護の提供体制の改革が予定されています。2025年の年間死亡者数は現在の1.5~2.0倍となることが予想されていますが、現状の病床数ではとうてい対応できず、さらなる医療崩壊、介護崩壊が懸念されます。現場の問題を医療政策に反映するため、この夏の選挙には医師はじめ何人かの医療関係者が立候補されています。実際の現場の状況を医政に反映し、適切な医療・介護の政策が行われるようお願いしたいと思います。

理事長 森 伊津子



体の安心情報板

健康ひろば

**第9回**  
 テーマ **「夏バテ対策について」**

<p><b>● 豚肉</b></p> <p>疲労回復に必要な栄養素ビタミンB1が豊富に含まれています。</p>	<p><b>● はも</b></p> <p>たんぱく質など栄養豊富で、万能のスタミナ食材です。全身のむくみを取る漢方的薬効もあるので水分を取りすぎがちな夏にぴったり!</p>	<p><b>● うなぎ</b></p> <p>良質な脂肪のほか、暑さからくる食欲不振やだるさを解消するビタミンAを豊富に含んでいます。食欲不振を解消!</p>	<p><b>● スパイス</b></p> <p><b>【ターメリック・クミン・チリパウダー・カレー粉・こしょう】</b>          抗酸化作用や食欲増進、血行促進といった具合に、さまざまな薬効があります。新陳代謝を促す!</p>
<p><b>● 香味野菜</b></p> <p><b>【ネギ・しそ・みょうが・にら】</b>さわやかな香りが脳の食欲中枢を刺激して胃液の分泌を促してくれます。食欲増進に効果あり!</p>	<p><b>● ねばねば食材</b></p> <p><b>【オクラ・山芋・納豆・めかぶ】</b>ねばねば成分に整腸作用やコレステロールを減らす作用があり、栄養価が高く、夏バテ解消にもってこい!</p>	<p><b>● 夏野菜</b></p> <p><b>【かぼちゃ・オクラ・なす・ピーマン・トマト・ゴーヤ・きゅうり】</b>体を傷つける活性酸素の働きを抑えるポリフェノールがたくさん含まれています。</p>	<p><b>● すいか</b></p> <p>果肉の90%以上が水分。残りの10%には糖質やβカロテン、ビタミンCを含有しているので夏風邪対策におすすめの果物。夏バテを解消!</p>

バランスの良い食事を取ることで、体内に疲れをためない食生活を心がけましょう。

## ● 香川大学医学部附属病院精神科神経科 中村 祐教授『認知症について』講演開催



平成22年4月、香川大学医学部附属病院精神科神経科中村教授による「認知症について」のご講演が開催されました。中村教授は老年期精神障害をご専門とされ、認知症の第一人者です。ご講演では、認知症の原因疾患、認知症の早期発見、認知症の症状などについてご教授いただきました。当院介護療養型病棟、グループホーム、デイサービスにおいては、認知症の問題行動を認める患者さまおられ、



その対処方法、薬物療法についてのご指導もいただきました。今後増加傾向にある認知症にどのように向き合っていくかは、大きな問題です。職員全員で認知症に関し、知識・理解を深めていきたいと思っております。

## ● 栄養科紹介



当院の栄養科は管理栄養士4名と栄養士1名の計5名で構成されています。

主な業務内容としては、入院患者様一人ひとりの栄養状態を把握すると共に食べ物の嗜好や食事の摂食機能に応じて栄養ケア計画を作成・実施する事で病状回復や退院遅延の原因ともなる低栄養状態の予防改善に努めています。実践にあたっては、医師を中心に摂食機能訓練を行う言語聴覚士や喫食状況を伝える看護師や介護職員など多職種が協働で見守り、定期評価を行いながら健康維持と病状回復への成果が見える栄養ケア実施につなげています。また、外来患者様に対しては、家での食事療法について外来栄養指導を実施しています。その中でも透析食や糖尿病などの治療食が必要な患者様やご家族には調理実習を伴った集団栄養指導を毎月1回行っています。

その他、患者サービスとして、介護療養病棟と通所介護においては、ご家族も参加して頂き毎月1回バイキング食事会を実施しています。毎月テーマを決め10品のメニューを提供しながらレクリエーションを楽しんでもらっています。

また、入院患者様にはメニューが選べる喜びを感じて頂けるよう、入院食のメニューを数種類の中から選べる選択メニューを週3回実施しています。また、四季折々の季節感や旬の食材を味わって頂くためにその月々の行事に合わせた行事食も提供しています。

その他、当院では調理全般を(株)魚国総本社に委託しており、食べ物が上手に食べられない方には「ソフト食」という食事を提供しています。ソフト食とは、口の中で咀嚼(そしゃく)する時、舌で押しつぶすことのできる程度のやわらかさでまとまった形状となり、飲み込みやすい食形態であり安心して召し上がっていただけます。これまで管理栄養士・栄養士は、食事という“もの”を提供する事を業務としてきましたが、これからは患者様個々の“人”を中心とした業務に変えていくことが大切です。「食べ物の提供」から「食べなくなる工夫」を重ね、これからも患者様一人ひとりを見つめた患者サービスや栄養ケアを行っていきたく思います。

## ●ふれあい看護体験



フローレンス・ナイチンゲールの誕生日が『看護の日』に制定されて以来、全国でさまざまなイベントが開催されています。当院でも5月15日(土)、中学生7名が参加のもと、ふれあい看護体験を開催しました。

各自、目的を持って体験に臨んでおり、『将来、看護師を目指したいと思う。』『やりがいのある職業だと思う。』という感想が聞かれ、私たち職員も有意義な看護の日を過ごすことができました。



## ●子育て支援の取り組みについて

●平成8年度4月より育児休業取得率 **100%** 継続中!! (直近5ヶ年の実績)

平成17年度	取得者数4人
平成18年度	取得者数5人
平成19年度	取得者数8人
平成20年度	取得者数9人(うち2人は男性)
平成21年度	取得者数9人

●育児休業中の職員がスムーズに職場復帰できるよう職場復帰プログラムがあります。

### 1. 職場復帰3ヶ月前より

・慣らし勤務として勉強会等への参加や育児と勤務の相談等を行っています。

### 2. 職場復帰後1ヶ月以内に

・業務改正点や職場内の現状について説明しています。

### 3. 毎月1回病院内の情報を提供

・各部署発行のニュース、協会・学会ニュース、院内会議録等を送付しています。



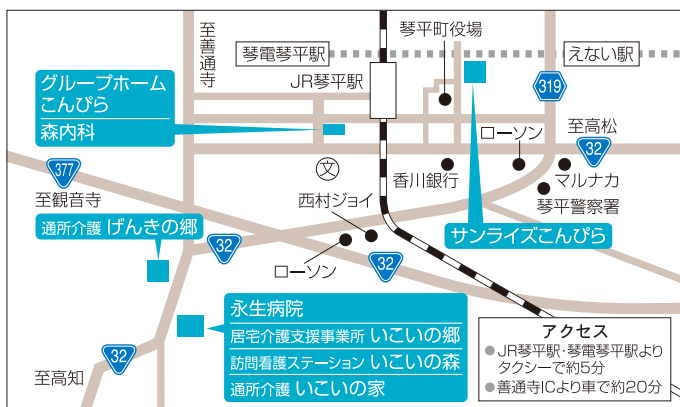
両立支援推進委員会

## 【編集後記】

だんだんと暑さが厳しくなり、いよいよ夏本番を迎えようとしています。熱中症や脱水症など暑さで体調を崩しやすい時期ですので、こまめな水分摂取など体調管理には十分気を付けていきたいものです。

ギリシャの財政危機に端を発する世界的な金融不安など先の見えない暗いニュースが多い中、先月サッカーワールドカップで日本代表がベスト16に入る大活躍を見せ、日本中に元気と感動を与えてくれました。

私達も患者様・利用者様に安心して心から満足して頂けるような医療やサービスを提供できるよう努力してまいりますので、これからも医療法人圭良会を宜しくお願い致します。



## 医療法人圭良会

● 永生病院	香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
● いこいの森 (訪問看護ステーション)	Tel 0877-73-3700
● いこいの家 (通所介護)	Tel 0877-73-3718
● いこいの郷 (居宅介護支援事業所)	Tel 0877-73-3655
● げんきの郷 (通所介護)	仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
● 森内科	香川県仲多度郡琴平町167 Tel 0877-73-4188
● グループホームこんびら (認知症高齢者グループホーム)	Tel 0877-73-0811
● サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護)	香川県仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1 Tel 0877-58-8600



永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

永生病院広報誌「ゆるぬき」第20号

発行元：医療法人圭良会 永生病院

編集者：医療サービス改善委員会

住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3

TEL:0877-73-3300

FAX:0877-73-3202

永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>

eメールでのお問い合わせは [keiryokai@eisei-hp.or.jp](mailto:keiryokai@eisei-hp.or.jp)

発行年月日:平成22年7月15日